

医療と

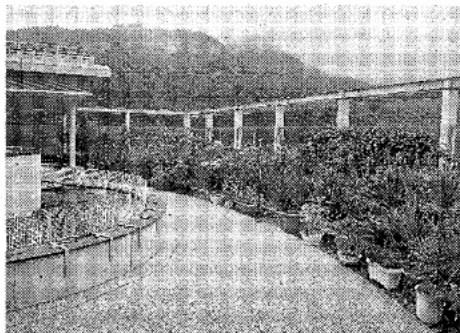
暮らし



～55～

今後の日本で増えてゆく疾患の一つにがんがあります。団塊の世代が超高齢者となる2025年ごろには、がんで死亡する患者さんが、年間60万人にも達すると考えられています。

八鹿病院では05年の病院新築に際して、このような時代的背景を考慮し、但馬地方では初めての「緩和ケア病棟」を開設しました。



病院の屋上庭園

この病棟はがんの治療ではなく、適切な麻薬などを使用してがん特有のつらい症状を緩和することを目的としています。

病室は20床すべて個室ですが、ご家族の負担を軽減するために10床は部屋代が無料となっています。また、一

緒に生活されるご家族利用の台所やお風呂があり、また疲れたときに利用できる和室もあります。管理栄養士がベツドサイドにきて、入院患者さんの希望に沿った食事を準備したり、お酒の好きな方は晩酌をしたり、寝たまままで入浴できるお風呂もあります。またかわい

がっている犬や猫が面会に来たりもできます。思い努力しています。
（公立八鹿病院院長 宮野陽介）

がん患者さんのための緩和ケア病棟

開設以来5年が経過

宮野陽介